

冬号  
NO.5

# 夢花志(ゆめばなし)



発行：JCC広報委員会 電話：052-618-6606 FAX：052-618-6607  
ホームページ：https://community-care.co.jp

理念  
私たちは豊かな地域  
共生社会の創造に貢献します。



訪問看護グレースケア 『研修会&カンファレンス』

## 訪問看護におけるフィジカルアセスメント

### 地域看護を支える訪問看護師の役割

病人一人ひとりが営む生活を、生命の法則に沿うよう創り変えていくことが基本

訪問看護は基本的に看護師一人で自宅に訪問して、バイタルチェックや問診をもとにアセスメント

視診や触診、聴診などの客観的情報と利用者への問診をもとにアセスメント

### 自宅は生活の場

トして病状が安定しているか判断していきます。病状変化があれば、早急にクリニックや病院の医師に報告・相談して対応することが求められます。病院は病気を治療する場ですが、自宅は生活の場

です。ここに病棟看護と訪問看護の介入の違いがあります。訪問看護のアセスメントで大切なのは、利用者とその家族が「自宅でのような療養生活を送りたいか」という希望も加味した看護展開をすることです。病気や障害はかりに目を向けて管理的な介入になることがないように、本人や家族の生活スタイルや希望を確認します。訪問看護師

●● **フィジカルアセスメント** ●●

フィジカルアセスメントとは、「フィジカル(身体的な)」「アセスメント(情報を意図的に集めて判断する)」という言葉の通り、問診・視診・触診・聴診・打診を通してさまざまな情報を集めて分析し、患者の状態を判断することです。日本語では「身体診察技法」と呼ばれています。アセスメントは、対象が抱える問題点や優先度を判断し、看護ケアの方向性を明確化することにつながる。収集した情報は、看護学的な視点で分析することが求められます。




訪問看護グレースケア MTDLP症例検討会

は二十四時間利用者の側にいるわけでもなく、必要な情報が常に取れる状況ではないです。フィジカルアセスメントには**共有する 看護師間で情報** 共有することやケアマネジャー、ヘルパーやデイサービスのスタッフ等に情報を確認して判断していくことでアセスメントの精度を高めていくことができます。また、看護師間等で定期的なカンファレンスを開催して情報共有することが大切です。